## 平成 24 年度 京都大学大学院理学研究科 (数学・数理解析専攻)

## 数学系 入学試験問題 基礎数学

- ⊗ 1 から 4 までの全問を解答せよ.
- ⊗ 解答時間は2時間である.
- ⊗ 参考書・ノート類の持ち込みは 禁止 する.

## 「注意 ]

- 1. 指示のあるまで開かぬこと.
- 2. 解答用紙・下書用紙のすべてに、受験番号・氏名を記入せよ.
- 3. 解答は各問ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を各解答用紙の枠内に記入せよ.
- 4. 1 問を 2 枚以上にわたって解答するときは、つづきのあることを用紙下端に明示して次の用紙に移ること.
- 5. 提出の際は、解答用紙を問題番号順に重ね、下書用紙をその下に揃え、記入した面を外にして一括して二つ折にして提出すること.
- 6. この問題用紙は持ち帰ってよい.

## [記号]

以下の問題で  $\mathbb{N}$ ,  $\mathbb{Z}$ ,  $\mathbb{Q}$ ,  $\mathbb{R}$ ,  $\mathbb{C}$  はそれぞれ,自然数の全体,整数の全体,有理数の全体,実数の全体,複素数の全体を表す.また, $\mathbb{R}^n$  の元  $x=(x_1,\ldots,x_n)$  に対して  $|x|=\sqrt{x_1^2+\cdots+x_n^2}$  と書く.

- $oxed{2}$  複素数体  $\mathbb C$  の元を成分とする n 次正方行列全体のなす集合を  $M_n(\mathbb C)$  とする.
  - (1)  $M_n(\mathbb{C})$  の元 N が, ある自然数 k に対して  $N^k$  が零行列になるとする. このとき, N の固有値がすべて 0 であることを示せ.
  - (2)  $M_n(\mathbb{C})$  の元 A をひとつ決めて、写像  $f_A:M_n(\mathbb{C})\to M_n(\mathbb{C})$  を  $f_A(X)=XA-AX$  によって定義する.  $M_n(\mathbb{C})$  は複素数体  $\mathbb{C}$  上の  $n^2$  次元のベクトル空間であり、 $f_A$  は  $M_n(\mathbb{C})$  の線形変換である. このとき、ある自然数 m に対して  $A^m$  が零行列になるとすると、線形変換  $f_A$  の固有値がすべて 0 となることを示せ.
- x>0 で定義された次の函数項級数は各点収束するが $(0,\infty)$ 上で一様収束しないことを示せ.

$$\sum_{n=0}^{\infty} \frac{x^2}{n^2 x + 1}$$

4 次の広義積分が収束するような実数 s の範囲を定めよ. またそのときの積分値を計算せよ.

$$\iint_{\mathbb{R}^2} \frac{dx \, dy}{(x^2 - xy + y^2 + 1)^s}$$